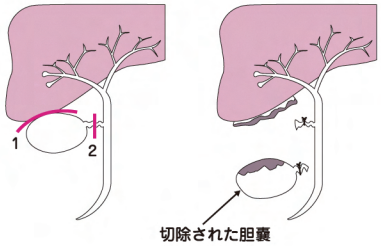
サンプルページ

図27 胆石の手術
①肝臓と胆嚢，②胆嚢管（胆嚢を総胆管）で切り離します。



モモ医師 そして合併症の項でも出てきた胆嚢癌になる可能性ということですね（**図26**）。

ご主人 **手術では胆嚢を取る**とおっしゃいましたね。

石野 胆嚢の中から石だけ取り出すのではだめなのですよね。悪いのは私なんですから。

向日葵 いえ石野さんが悪いのではなくて，石野さんの胆嚢が病気なのです。

ご主人 先ほどの解剖の絵を見ますと胆嚢を胆嚢管で総胆管から切り取るということですね。

市原 そのとおりです。ただ，りんごの実を切り取るようにはいきませんよ。胆嚢も血が通っていますので，胆嚢に入り込んでいる動脈と静脈を出血しないように処理してから切ります。また胆嚢の半分は肝臓に埋まっていますが，肝臓からも血管がきていますのでここも切ります（**図27**）。

ご主人 それらも血を止めながら切っていくということですね。

石野 それって大手術なんですの？

市原 いえ胆嚢を取るということだけが手術のすべてですから面倒な手術ではありません。

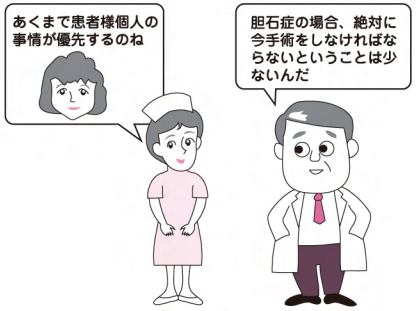
ご主人 でもお腹を切らなければいけない。

石野 嫌だわ。

手術を強制することは間違いです

胆石の症状があり，手術による全身状態の危険が少ない患者様は，早期の手術が最善の選択と考えるのが一致した意見ではあるが，胆石症と診断し，即座に手術を勧めるのは誤りである。選択肢は一つではないし，今手術を行わなかったからといって即座に生命にかかわる疾患ではないのであり，患者個人の事情を優先して手術適応を考えることができる疾患であることは必ず伝えなければならない（**図28**）。**手術を先延ばしにして条件が悪くなる可能性はある一方でよくなる可能性はほとんどないとはいえ，誰しも手術されることが嫌なのは当然であり，気のすむまで内科**

図28 胆石症手術の必要性



治療で試みたり，セカンドオピニオンを希望するのも当然であり，患者様を急かせるような物言いは厳禁である。

b） 手術の合併症

市原 手術は避けたいのが人情です。

石野 でも上手な市原先生にお願いしておけば何の心配もないのですわね

市原 ご信頼はありがたいのですが，神様が完璧にお作りになった体を人間が手を加えるのですから，何らかの支障が生ずるのは当然だと考えてください。これから手術の合併症をお話します。

ご主人 でも医学の進歩はすごいから心配ご無用じゃあないのですか？

患者様の過信は訂正しておく

救急外来などで，転倒して額に傷を作った小児に一針縫合すると，「この程度では傷は残りませんよね」と親によく質問される。相当程度にきれいになるにしても探せば「残ります」というと「現在の医学なら治せるはず」と立腹されてしまった経験はないだろうか。いくら科学が進歩したからといって新幹線でも東京―大阪が1時間で行くことはできない（**図29**）。できないことはできないのであるが，新幹線には文句を言わない人でも医学に対しては別である。「医師には不可能はない」と思いたいのは市民の希望であり，偏ったメディア報道と相まって誤解されている場合もある。手術の必要な病気をもつことは，患者本人にとって不幸な出来事であり，少しでも事態を過小評価したいため，過度の期待をもちながらの会話も多く，短気を起こさず辛抱強く話をする必要がある。一方手術を勧められ当惑されている

＊このサンプル頁はB5判をB6判に縮小したものです。